

様式第2号（第9条関係）

会議録

会議の名称	令和6年度ふじみ野市元気・健康づくり推進市民会議			
開催日時	令和6年11月20日（水） 開会時刻 午後1時30分 閉会時刻 午後2時30分			
開催場所	保健センター 健診室			
出席した者の氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
	会長	石川 亮	委員	水流 幸子
	副会長	西村 早苗	事務局	皆川 恒晴
	委員	高橋 威博	事務局	三原 加奈
	委員	内藤 浩由	事務局	味戸 千里
	委員	山本 眞由美	事務局	大内 智樹
	委員	木内 芳仁	事務局	佐藤 美保
	委員	平野 敏江	事務局	奥寺 映利子
	委員	若林 まり子	事務局	松澤 直輝
	委員	中村 アイ子	事務局	春山 和範
	委員	川人 登志子	事務局	大野 ひかり
	委員	雨宮 正樹		
	委員	玉田 康雄		
	委員	山城 いづみ		
	委員	太田 肇		
	委員	鈴木 幸子		
委員	高田 直樹			
会議の議題	<p>議題</p> <p>(1) ふじみ野元気・健康プランについて</p> <p>(2) 元気・健康マイレージ事業について</p> <p>(3) 次期（第6期）市民会議委員の選出について</p>			
会議の公開又は非公開の別	公開			
会議の非公開の理由				
傍聴人の数	0人			
会議の内容	別紙のとおり			
会議資料	別添のとおり			
事務局	こども・元気健康部 保健センター			
議事の確定	確定年月日	令和6年11月27日		
	記名押印 又は署名	<p>会 長 石 川 亮 印</p> <p>※自署の場合は、押印不要です。</p>		

## 発言の要旨

発言者	発言の要旨
事務局	<p>1 開会</p> <p>ただいまから令和6年度ふじみ野市元気・健康づくり推進市民会議を開催いたします。</p>
皆川部長	<p>2 委嘱式（組織の人事異動等に伴う委員変更者のみ）</p>
皆川部長	<p>3 あいさつ</p> <p>本日は、ご多忙の中、本会議にご出席いただきありがとうございます。</p> <p>また、委員の皆様のご協力のもと、本年3月に「第2期ふじみ野元気・健康プラン」の策定に至りましたことを併せてお礼申し上げます。</p> <p>本会議は、総合的かつ効果的な健康づくりの推進を目指し、委員の皆様にご審議いただくことができる、本市にとって大変貴重な会議でございます。委員の皆様におかれましては、引き続きお力添えいただきますようお願い申し上げます。</p>
事務局	<p>【資料確認】</p>
事務局	<p>【欠席委員紹介】</p> <p>本日の出席委員は17人です。全体の委員数20人対して、過半数を超えていますので、ふじみ野市元気・健康づくり推進市民会議条例第6条第2項の規定により、本会議は成立といたします。</p> <p>議題に移ります。議事進行は石川会長よろしくお願いいたします。</p>
石川会長	<p>【傍聴人の確認】傍聴人0名</p>
石川会長	<p>4 議題</p> <p>（1）ふじみ野元気・健康プランについて</p> <p>それでは議題の（1）「ふじみ野元気・健康プランについて」に移ります。まずは、令和5年度ふじみ野元気・健康プランの進行管理について、事務局から説明をいただきます。このプランは4つの計画から成り立っているため、計画ごとに説明をお願いします。また、令和5年度は第1期プランの内容でありますことを申し添えいたします。</p> <p>それでは事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【資料説明】</p>

石川会長	ただいま事務局から説明のありました内容について、委員の皆様からご質問等ございますか。
中村委員	資料説明の際は、何ページかもおっしゃっていただきたいです。よろしくお願いいたします。
鈴木委員	高齢者の低栄養の予防についてですが、現在各地区で行っている「ふれあいサロン」にて、要望すれば来ていただけるのでしょうか。各回、高齢者が20人ほど参加されていますが、高齢者は、お茶漬けなど簡単な食事で済ませてしまう方も多いと聞きますので、講話をされると良いと思います。
三原所長	「ふれあいサロン」における健康教育として、保健師・栄養士・歯科衛生士がお伺いすることはできます。老人クラブ・いきいき連合会だと、高齢福祉課からお伺いするケースもありますが、こちら保健センターも教室を開くことができます。その際は、保健推進員さんとも一緒に開催していただければと思います。
石川会長	続きまして、昨年、一昨年と皆様にご審議いただき、策定に至りました第2期ふじみ野元気・健康プランについて、あらためまして概要の説明を事務局からお願いします。
事務局	<b>【資料説明】</b>
石川会長	ただいまの内容は、昨年ご審議いただいたものになりますので、報告のみとさせていただきます。
石川会長	(2) 元気・健康マイレージ事業について 次の議題に移ります。元気・健康メニューについてと、元気・健康マイレージ事業リニューアル案について、事務局からの説明をお願いします。
事務局	<b>【資料説明】</b>
石川会長	ただいま事務局から説明のありました内容について、委員の皆様からご質問等ございますか。
内藤委員	元気・健康メニューの協力店は、どのようにして選定されていますか。商工会などに、声掛けをしているのですか。
事務局	スタート時は飲食店の集まりにこちらの管理栄養士が出向き、協力して

	<p>いただけるお店を募りました。現在は、職員が直接飲食店に訪問し、事業の説明をして協力を仰いでいます。</p> <p>また、ホームページで協力店を募っており、ご相談を受けています。</p>
内藤委員	<p>上福岡地域は飲食店が多いのに、この事業の件数が少ないと感じたので、どのように選定しているのかお伺いしました。もう少し件数が増やるといいですね。</p>
高橋委員	<p>マイレージ事業を9年間行って健康について何がどう変わったかなど、何かデータを取っていますか。</p>
事務局	<p>データで示せるものとしては、主に医療費の削減があります。歩数を送信していただいている人のデータを収集しており、医療費との因果関係を分析しています。歩いている人とそうでない人との医療費にどれくらい差があるのか分かっています。</p> <p>歩いていない人というのは、1日あたり0歩から2000歩未満の人とし、年間医療費が、約25万円かかっています。また、歩いている人は、1日8000歩から1万歩以上の人とし、こちらは年間医療費が約14万円程度であり、年間医療費に差があることが分かっています。</p>
高橋委員	<p>このことは、どこかで説明されていますか。</p>
事務局	<p>「マイレージ通信」というものを発行してしまして、そちらで説明させていただいています。</p>
高橋委員	<p>そのような、9年間やってきた結果というのは、もっと大きく言ったほうがいいんじゃないでしょうか。その方が広がると思います。</p>
西村委員	<p>私も今の説明を聞いて、ぜひ、お知らせしていただきたいと思いました。</p> <p>また、ポイントが付かなくなった方のうち12%が、ウォーキングを継続しているということですが、その方たちは、ウォーキング本来の意味や自分にとってのメリットを感じて継続して習慣化しているのだと思いますが、そこに新しい人を入れていく、ということが大事なのではないでしょうか。</p> <p>やめない人を作りながら、新しい人を入れていく仕組みというものが必要ではないかと思います。高齢者のこれからの健康状態を考えると、時間に余裕ができた人に、より動いてもらうということが必要ではないかと。若い方も運動量が少ないので必要ですが、対象によって働きかけが違うのではないかと思います。継続している人たちの年齢層などを分析して、ど</p>

事務局	<p>の年齢の人たちなら自走して継続してくれるのかを見ていただきたい。また、わかっているのであれば教えていただきたい。</p> <p>新しい人を入れて、どう継続していくか。先ほどの健康教育、高齢者の健康教室でも、少しでも歩くことを増やすために、これに準じたことをやればいいのではないかと思いました。どこにどうつなぐか。お考えがあれば教えていただきたい。また、感じている問題などでも構いません。</p> <p>毎年、新規募集はしているのですが、最近は新規参加が伸び悩んでいるというのが現状です。このため、今回リニューアルを検討したのですが、これまでの事業の効果が、市民の方に浸透していないという問題と、ただウォーキングをするとポイントが貯まる、という印象を持たれてしまう事業になっていましたので、リニューアルを機に地域で様々な活動をしている方も健康づくりをしているので、そのような方もポイントが貯められるような仕組みを考え、解決してはどうかと思っています。全庁的に、様々な事業を地域の方と行っていますので、ポイントを貯められる事業を募集して新規の方も増えることを期待しています。</p>
西村委員	<p>「ポイント」は、どの年齢の方も敏感ですし、貯まることが目に見えたり結果になっていき数字が増えることの面白さもありますので、上手く活かしていただきたいと思います。そして新規の方を増やしていただきたいと思います。</p>
川人委員	<p>「資料4」の3.現状・課題①の中で、ポイント付与期間終了者4,396人中538人、12%が継続中とありますが、私の友人は、残りの88%の中にいるんです。最初にいただいた活動量計を無くしてしまい、継続できなくなった状態のままで、お便りは毎年いただき継続したい気持ちはあるけれど心苦しいと言っております。そのような方たちはどうなっているのか教えていただきたい。</p>
事務局	<p>88%というのは、データ送信をしていない方ということになります。中には、ウォーキングを継続しているけれども、ポイントが付かなくなったためデータ送信をしていないという人もある程度いるのではないかと思います。そのような方に、またご参加いただくのもリニューアルを検討した理由の一つです。</p> <p>そして、活動量計を紛失してしまった方につきましては、活動量計は定価が5,900円ほどの物で、市から提供させていただくには、誠に申し訳ないのですが、4,200円ほどご負担いただいています。この費用負担が大きいということは、こちらも承知しておりまして、タニタさんとお話させていただいているのですが、下げることはなかなか難しいというのが現状です。</p>

高齢者の方には、切り替えが難しい場合もあるかとは思いますが、活動量計の費用負担が大きいので、参加方法をスマートフォンに切り替えて参加していただくことを検討しています。これまでは、ポイント付与期間の3年間で過ぎたら、参加方法を変更できないという制度設計になっていました。ですが、リニューアルを機に変更できるようにします。スマートフォンをご使用ですと、体組成計で計測するためのICカード代550円のみで切り替えることができます。また、スマートフォンを使用する際のサポート体制・支援なども行っていく予定です。

山城委員

私は、参加辞退した1人なのですが、始めたきっかけは友人が「あと何歩、歩かなければポイントがもらえない」という話を何度もして、そのような事業があることを知り参加登録しました。周りの人がやっていると、「ポイントが貯まるから」という、口コミによる影響力は大きいと思います。

スマートフォンでの参加についてですが、女性は家に帰るとスマートフォンをなかなか持ち歩かないので、家での歩数が貯まりづらいと思います。ですが、活動量計ですとポケットに入れられて、家事などの歩数を拾ってもらえることが良くて、私は活動量計での参加にしたのでスマートフォンでの参加が嫌な方もいるかと思います。

また、3年経過してもお手紙が来ていました。私は、ポイントが貯まるほど歩けないと思っていたので寄付にしていました。

終了してからも、電池が切れるまでは歩数計として使っていました。リニューアルでまたポイントが付くなら、周りの方も含め、復活したいという人が増えるのではないかと思います。私からも周りの方々に、またポイントがつくよ、と話してみようと思いました。ポイントだけではないと思いますが、頑張ってみようと思うきっかけの一つになると、経験者の一人として思います。

石川会長

高齢者が、1人で食事をしている人はすごく多いです。その食事内容は、貧しかったりしています。そういう意味で、元気健康メニュー協力店を増やしたいですし、何人かで集まって食べに行くツアーがあっても良いのではないかと思います。そういう事業を始めても良いのではないかと思います。本当に1人で食べている人は多いです。やはり、食べることと歩くことがなければ、すぐに骨折してしまうこともあるので、歩くことと食べることを充実させてほしいと思います。

他に質問はありますか。次の議題に移ります。

石川会長

(3) 次期（第6期）市民会議委員の選出について

議題3 次期（第6期）市民会議委員の選出について、事務局から説明をお願いします。

事務局	<p>今年度、この会議は、本日の1回の予定です。委員の皆様は、令和7年2月7日まででありますことから、最後の会議になっております。つきましては、次期委員の方の選出についてご連絡させていただきます。</p> <p>【資料説明】</p>
石川会長	<p>事務局から説明のありました内容について、委員の皆様からご質問はございますか。</p>
石川会長	<p>では、以上で議事を終了いたします。委員の皆様のご協力に感謝申し上げます。事務局に会の進行を戻します。</p>
事務局	<p>5 その他</p> <p>【謝礼・交通費の説明】</p>
三原所長	<p>6 閉会</p> <p>これを持ちまして、本日の会議を終了いたします。長時間にわたり、ご審議いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>皆様には、本会議のみならず、第5期委員としておよそ2年間ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。次期におきましても、皆様や所属団体様から、引き続きご協力いただきますようお願い申し上げます。ありがとうございました。</p>